四十年前に端を開き 今日開通の緒に就く

私設會社として目論見せられ 鐵道會議にも上程され幾度か倒れ幾度か起つた先輩の苦心

◇上越鐵道開通の經過◇

◇……新使命を帶ひて本日開業の四驛……◇

上越連絡の必要は喝破せられし也、當時此の數の急務なる所以を想像したるは大臣に於ては高橋是清、新渡戸稲造、村田保氏加はり、是に國會の開設に當り、鐵道の國營の實地觀察の爲め行ひたる結果、上越線の敷設は、奮起の目標となり、資本金百万圓、株金五十萬圓を以て此の鐵道を敷設するに決し、明治十年、國會の開設に當り